



学校だより

令和2年12月14日 第8号

山 辺 里 小 学 校

HP : <http://saberi-e.murakami.ed.jp/>



ブログ続々更新中!! どうぞご覧ください!

ICT を使いこなすために

校長 佐久間 義久



現在、文部科学省の「GIGA (Global and Innovation Gateway for All) スクール構想」に基づく動きが各地で加速しています。子ども一人一人が ICT(タブレットや PC)を活用しながら学びを深めることをとおして、子どもたちの資質・能力を確実に育成することをねらうもので、村上市内でも、一人一台の ICT を目指した動きが始まりました。

なるほど、私たちにとって、スマートフォンやタブレットが随分身近になり、辞書、百科事典で調べるよりネット検索が当たり前になってきている昨今においては、当然の成り行きとも言えます。ましてや、昨今流行りの「オンライン授業」や「テレワーク」が世界で普通に言われるようになった今、ICT 整備は待ったなしなのだと思います。

では、一人一台の ICT をどのように活用するのでしょうか。既に身近となったワープロや表計算、プレゼンテーションソフトを使いこなすというよりは、「①教材の一斉提示 ②個に応じる学習 ③調査活動 ④思考を深める学習 ⑤表現・制作 ⑥発表や話し合い活動 ⑦意見整理 ⑧共同制作 等」といった、画像やデータをやり取りする、共有する、または集約するという場面での活用を主に想定しています。もちろん、調べ学習に使う、自らの思考を整理する等、個別の学び場面も多くありますが、それよりは『他者との協同的な学びを築くための道具』として、新学習指導要領がめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るために使うということになります。

でも、一人一台の ICT があればすぐに理想の授業ができるのでしょうか。実は、私を含め、チョークと黒板、時に ICT も使いながら学び合いをコーディネートすることは得意だけど・・・という教員がまだまだ多いことが事実です。まずは「一に研修二に研修」です。またノート記述やノートに思考の跡を残すことの有効性は疑いのないところです。不易流行を大切にしながら、教職員も学びを深めていきたいと思っています。

一つ気掛かりは ICT の使い方。日本の子どもの ICT 利用は世界でも多い方ですが、実はゲームやネット上のチャット(おしゃべり)においての利用が突出しているというのが事実です。ICT をうまく使いこなすメディアリテラシー力とメディアコントロール力、そして、ネット上でもルールを守る力を身に付けさせることが肝要です。大きな課題です。

12月の全校朝会で「2学期のまとめをしよう」と話しました。

授業では、「まとめ」をして「ふりかえり」をしています。「まとめ」は、学びの要点をまとめること、そして、「ふりかえり」はこの時間で、自分がこの時間でできるようになったことを振り返ることです。同じように、この2学期で「できるようになったこと(自分の成長)」を振り返ることが「2学期のまとめ」をすることと伝えました。2年生からは、「二重跳び」や「かけ算」ができるようになったよ!と聞くことができました。ぜひ、ご家庭でも聞いてみてください。



(熊対策) ○現在も、まだまだクマに注意との報道が。暗い時間帯は一人で出歩かないようご家庭でもご指導ください。